

金子校区の人口

男 5,708 人
 女 6,046 人
 計 11,754 人
 世帯数 5,446 世帯
 (平成 27 年 9 月末日現在)

地域交流センターだより

(ふれあい金子)



(発行所)

庄内町一丁目 14 番 7 号

地域交流センター

電話 34-6320

FAX 34-3289

E-mail

kanekou@city.nihama.ehime.jp

金子校区文化祭開催の報告とお礼

実行委員長 山下 和之

平成二十七年十一月八日(日)午前九時より金子小学校において、第四十二回金子校区文化祭を開催いたしました。

金子校区連合自治会、社会福祉協議会金子支部、校区体育振興会、校区老人クラブ連合会、交通安全協会南支部、南中PTA、金子小PTA、校区内青年団、他多くの緒団体のご支援・ご協力を頂き盛大に実施することができました事、ここに厚くお礼申し上げます。

当日は降雨が予想されておりましたが、雨も降らず幸いでした。作品展示、バザー出店、けん玉コーナー、木工コーナー、新居浜高専SLコーナー、同時開催の金子消防団による防災訓練など大変好評にて、昨年以上に多くのご参加を頂き、地域相互の交流が図れたものと思っております。

今後とも地域の絆を深めていくため、皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。最後に会場をお借り致しました(お手伝いを含め)、金子小学校教職員の方々に對し心からお礼申し上げ、校区文化祭開催のご報告といたします。



第 5 回高齢者軽スポーツ大会開催報告とお礼

金子校区連合自治会 会長 永井 昭憲

連合自治会主催、高齢者軽スポーツ大会を 11 月 14 日(土)金子小学校体育館にて行いました。多くの参加を頂きありがとうございました。

来賓に佐々木・伊藤・藤田市議会議員を迎え、5 種の個人・1 種の団体競技・全員参加の〇×クイズに大いに盛り上がりました。当日は地域交流センター・体育振興会等の方々のご協力ありがとうございました。

今後とも、皆様に喜んで気軽に参加できるスポーツ大会になるよう企画して参ります。



平成 27 年 年末交通安全県民運動

【期 間】平成 27 年 12 月 21 日(月)～12 月 31 日(木)

【スローガン】 『はんしゃざい ぼくの近くが一番星』

【運動の基本】 子どもと高齢者の交通事故防止

【運 動 重 点】

- 高齢者の交通事故防止
- 飲酒運転の根絶
- 自転車の安全利用の推進
- 夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗車中の交通事故防止

交通事故を起こしません。交通事故に遭いません。



新居浜市体育功労賞

おめでとうございます

10 月 4 日の新居浜市民体育祭総合開会式において藤田明美さん(江口町)が体育功労賞を受賞されました。



藤田さんは長年にわたり、市家庭婦人バレーボールやレクバレーボールの発展に寄与し、地域のリーダーとして積極的に取り組み、また後進の指導に当たっています。

現在は校区体育振興会副会長として地域社会体育の振興に尽力されています。

これからも地域のリーダーとして、ご活躍を期待しております。

とうとう、住みついていた一番くすから、追い出されてしまいました。住みなれた一宮の森を去って、あてもなく、さまよい歩くうちに浜辺にきました。困った小女郎たぬきは、慈眼寺の和尚に化けて、いまこぎ出そうとする船に乗せてもらいました。

「初穂の鯛を盗むような奴は、一族の資格がない。今日かぎり、一宮の森から追放する。」

ある日、ついでき心から、初穂(その年初めて収穫した穀物や、それに代わって神仏に捧げるもの)の鯛を二匹失敬して食べてしまいました。ところが、悪いことはできません。このことが宮司にばれてしまいました。

代々、一宮神社の宮司につかえて、かわいがられている利口なたぬきです。小女郎たぬきは、壬生川の「喜左衛門たぬき」、屋島の「禿げたぬき」とともに、三兄妹として、伊予たぬき族の名門で、一番くすに住んでいました。

むかし、立川の奥の小女郎谷に、一匹のたぬきが住んでいました。夕方になると、美しい娘に化けるので、人々は、「小女郎たぬき」と呼んでいました。小女郎たぬきは、神通力を持つていたので、一宮神社の神様に見込まれて、眷属(お使い者)として、抱えられるようになり、一宮の森に移って来ました。

小女郎たぬき その一

